

空中ブランコ乗りのキキ (p. 22 ~ 29)

◆ 語句 ◆

意味

本番…演劇や映画、テレビなどで、練習ではなく、正式に行う演技。
 スター…人気のある歌手や俳優、スポーツの選手。
 波止場…港で、船をつなぎ、乗客の降りや荷物の積み下ろし
 などをするための、海に突き出したところ。
 もちきり…しばらくの間、人々が一つの話題だけを盛んに取りあ
 げている状態。

つくむ…口をかたく閉じる。

つぶやく…小声でひとりごとを言う。

しなう…弾力があつて、柔らかに曲がる。

どよめき…ざわざわと騒ぐ声。

潮鳴り…波の寄せては返す音。

短文

あいかわらず

例 弟は、あいかわらずゲームに夢中だ。

類義語・対義語

澄む ↓ 濁る、曇る

口にする || 例 話す、言う、語る

陽気 ↓ 陰気

◆ 読解 ◆

ステップ1

1 ① 団長 (さん) ② (金星サーカスの) ピピ

③ キキ ④ (ピエロの) ロロ

⑤ おばあさん

2 ① 幸福 ② 心配

③ 寂しい ④ 四回宙返り

⑤ 心配 ⑥ 一回

ステップ2

〔場面1〕

1 三回宙返り

2 鳥、ひょう、お魚 (あゆ) ※順不同可。

3 ウ

4 しなければいけないのだろうか……。

〔場面2〕

1 例 落ちたときの用心に、下に張ってある網。

2 ① 人間にできること

② 人気 ③ ブランコ

3 イ

【場面3】

1 ウ

2 ① 死んでも

② 四回宙返り

3 ① 四回宙返り

② やる前

③ 一度

④ 盛大な拍手

【場面4】

1 見る前 **例**ピピが三回宙返りに成功したこと。

見たあと **例**キキが四回宙返りをやること。

2 ブランコが へ えました。

3 人々のどよ

4 白(色)

ステップ3

1 ① 青い水

③ 不安

③ 一度だけ

④ 拍手

⑤ 生き方

2 **例**私は命と引きかえにしても「人気」や「拍手」を得たいというキキの行動や考え方に共感できない。しかし、他の人にはできない技でずっと人気を独占してきたキキには、普通の人には理解できないプロ意識やプライドがあったのだろう。美しいとも悲しいとも言える生き方だと思った。

象徴的な表現に注目しよう

物語や小説では、あるものに託して登場人物の心情や作品全体の主題などを間接的に示す技法がよく用いられる。繰り返して出てくることはやイメージに注目して読もう。



「まるで、鳥みたい」(教 54 ページ 6 行め)

「鳥でもない限り四回宙返りなんて無理」(教 55 ページ 11 行め)

「自分でもまるで鳥みたいだって思えた」

(教 56 ページ 18・19 行め)

↓鳥⇨空中ブランコ乗りとしてキキが目指す姿

「キキは白鳥のように飛び出してゆきました」

(教 59 ページ 19・20 行め)

「天に昇ってゆく白い魂」(教 60 ページ 2 行め)

「大きな白い鳥が滑らかに空を滑るように」(教 60 ページ 14 行め)

↓白・鳥⇨命をかけて四回宙返りに挑むキキの姿

「白い大きな鳥が止まっていて、……」(教 61 ページ 9・10 行め)

↓「白い鳥」そのものになったかもしれないキキ